

INTERVIEW



運動が得意でも得意でなくても

体を動かす楽しい経験を

たくさんさせたい

体を動かすことの気持ち良さ 挑戦することの楽しさを伝えたい

小さい頃から体を動かすことが大好きだった私は、大学で運動を行うことの大切さを学び、運動の楽しさと大切さを伝える仕事に就きたいと考えていました。

しかし、幅広い年代の教育現場を見てきた中で、運動を楽しんでいる人がたくさんいる反面、体を動かすことに苦手意識を持ち積極的に運動を行わない人もたくさんいることを知り、とても残念に思いました。自分自身を振り返ってみた時、私が運動が好きなのは、幼稚園の頃から、おにごっこやドッチボールで友達と体を動かすことの気持ち良さや挑戦することの楽しさを教えてもらっていたからではないかと思いました。このことから、大人になっても楽しく運動を行うには、心も体も大きく成長する幼児期の体育がとても重要だと感じるようになりました。

就職した今でも、運動が得意でも得意でなくても、体を動かすことが楽しいと思ってくれるような経験をたくさんさせてあげたいと思いながら、日々仕事に取り組んでいます。

子どもとの関わりがやりがい 「できた！」の笑顔に喜びを感じて

子どもたちが活動に興味を持ってくれるかどうかは、全て私たち教員次第です。できたことをその都度「すごいね！がんばったね！」と褒めたり、できたことをその子の立場になって抱き合ったりすることで、子どもたちの挑戦する気持ちを育てていきます。また、その子にはどんな言葉掛けが伝わりやすいのだろうかと、その子に合わせた声掛けを考えることもやりがいの一つです。言葉がうまく伝わり、「できた！」とキラキラしたはじける笑顔を見せてくれた時は、本当にこの仕事を選んで良かったなと感じる瞬間です。

体育教諭



体育教諭

上田幼稚園

久保 茜音 くぼ あかね

信州大学 教育学部
生涯スポーツ課程 地域スポーツコース 卒業
2018年 入職

Question

休みの日は何をしています？

夏はキャンプをしたり、冬はスノースポーツをしたり温泉旅行に行くなど、友人と遠出をすることが多いです。

自分ってどんな人？

何かを楽しんだり、楽しませたりすることが好きです。

就活生への一言！

子どもたちの成長を間近で見ることができるこの仕事、自分はどんなことにやりがいを感じるのか、考えてみてください。